

(H30.12.26 第5回 研究基盤整備・高度化委員会 資料3より)

第6期科学技術基本計画を見据えた課題・検討事項（たたき台）

1. 先端研究施設・設備・機器の共用

<全体像の整理>

- 各研究施設・設備の共用割合や共用対象に応じた議論【野村委員】
- 国内の共用施設・設備を一覧できる環境の整備（データベース技術の活用等。プロジェクト毎での共用の案内は非効率）【野村委員】

<国としての戦略的な整備> ※共用PF、数億～数十億円規模の最先端研究施設・設備

- 共用プラットフォームの施設が有する先端機器群、支援スタッフ及びノウハウの維持【西島主査代理】
- イノベーション・システムの一翼を担う存在としての位置づけ（共用・開発・研究サイクルの活性化による持続可能な共用モデルの構築等）【木川委員】
- 日本の科学技術の効率的・効果的な発展の観点から、相当程度の共用が望まれる施設・設備の洗い出し【野村委員】
- それぞれの分野で伸ばすべき事項の検討【中村委員】
- 一定以上の国費を投資した研究施設・設備に対する一定程度の共用原則化【野村委員】
- シンプルな利用手続き及びリーズナブルな価格設定【西島主査代理】

<各機関の組織としての整備> ※新共用、数百万～数億円規模の研究設備・機器

- 経営・研究戦略と一体となった研究設備・機器整備運営の更なる促進（ラボから組織へ）
- 大学・法人間での広域的な連携の促進

<人材育成等>

- 機関を越えたまとまった技術者養成【横山委員】
- 技術支援人材の評価やキャリアパスの明確化
- 利用者の責務（成果の出版や利用に対する謝辞等）の明確化【野村委員】

2. 研究機器・共通基盤技術の開発

<総論>

- ユーザーのニーズ・意見を反映できる場の構築【西島主査代理】
- 開発が必要な機器の整理と国としての戦略的な開発の推進【野村委員】
- グローバル社会を積極的に牽引する施策（プラットフォーム、データベース構築、標準化等）の検討【中村委員、野村委員】

<計測・測定及び解析におけるデータの利活用>

- データ駆動科学時代の到来を見据えたデータ利活用による計測・測定の質的向上、組織間の垣根を越える知のプラットフォームの整備【木川委員】
- 計測測定技術のクラウド化・バーチャル化に関する技術開発【木川委員】
- 共用の拡大に対応したデータ解析環境の充実（機器のユーザーインターフェースやデータフォーマットの統一、データストレージの充実等）【野村委員】